

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)

【公開番号】特開 2013-244628 (P2013-244628A)
 【公開日】平成 25 年 12 月 9 日 (2013.12.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-066
 【出願番号】特願 2012-118313 (P2012-118313)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 7 G 1/06 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 7 G 1/06 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 3 月 18 日 (2015.3.18)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

媒体を処理する処理部と、
 ホストコンピュータから送信されたコマンドを受信する第 1 接続部と、
前記コマンドを送信する第 2 接続部と、
前記コマンドを前記処理部により実行させる第 1 モード、もしくは前記コマンドを前記
第 2 接続部により前記外部の処理装置に送信させる第 2 モードを前記コマンドに基づいて
切り換える制御部と、
 を備えることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 2】
前記コマンドを、前記処理部で実行される第 1 実行コマンドまたは前記外部の処理装置
で実行される第 2 実行コマンドに変換する変換部を備えることを特徴とする請求項 1 に記
載の媒体処理装置。

【請求項 3】
 決済情報及びコマンドを送信する P O S 端末と、
 前記 P O S 端末から送信された決済情報及びコマンドを受信する第 1 接続部、レシート
 を印刷する第 1 印刷部、前記コマンドを前記第 1 印刷部に実行させて前記決済情報をレシ
ートに印刷する第 1 モードもしくは前記第 1 接続部により受信された前記決済情報を送信
する第 2 モードを実行させる制御部を有する第 1 印刷装置と、
 前記第 1 印刷装置の前記第 2 接続部に接続されて前記決済情報を受信する受信部、及び
前記受信部で受信された前記決済情報をレシートに印刷する第 2 印刷部を有する第 2 印刷
装置と、
 を備えたことを特徴とする P O S システム。

【請求項 4】
前記第 1 印刷装置の前記制御部は、前記コマンドが予め設定されたコマンドである場合
に、前記コマンドを前記第 2 接続部で前記第 2 印刷装置に送信させることを特徴とする請
求項 3 に記載の P O S システム。

【請求項 5】

前記第 1 印刷装置は、

前記コマンドを、前記第 1 印刷部で実行される第 1 実行コマンドまたは前記第 2 印刷装置で実行される第 2 実行コマンドに変換する変換部を有することを特徴とする請求項 3 に記載の P O S システム。

【請求項 6】

前記第 1 印刷装置の前記制御部が、前記第 1 モードを実行させたとき、

前記第 1 印刷部が、前記第 1 接続部で受信された前記第 1 実行コマンドに基づいて前記決済情報をレシートに印刷し、

前記第 2 接続部は、前記決済情報を前記第 2 印刷装置に送信しないことを特徴とする請求項 5 に記載の P O S システム。

【請求項 7】

前記第 1 印刷装置の前記制御部が、前記第 2 モードを実行させたとき、

前記変換部が、前記コマンドを前記第 2 実行コマンドに変換し、

前記第 2 接続部は、前記第 2 実行コマンドを前記第 2 印刷装置に送信し、

前記第 2 印刷装置は、前記受信部で前記第 2 実行コマンドを受信し、

前記第 2 印刷部で前記決済情報を前記第 2 実行コマンドに基づいてレシートに印刷することを特徴とする請求項 5 に記載の P O S システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

図 2 は、P O S システム 2 の機能ブロック図であり、プリンター 3 0 0 の構成を特に詳細に示している。

この図 2 に示すように、プリンター 3 0 0 は、プリンター 3 0 0 の各部を制御する C P U 等が実装された本体基板 3 0 1 と、本体基板 3 0 1 とは別に設けられたインターフェイス基板 3 0 3 とを有する。インターフェイス基板 3 0 3 は、例えば、接離可能なバスライン（図示略）を介して本体基板 3 0 1 に接続されていて、プリンター 3 0 0 の本体から着脱可能であってもよい。インターフェイス基板 3 0 3 には、第 1 インターフェイス 3 1 0 及び第 2 インターフェイス 3 1 5が実装され、本体基板 3 0 1 には制御部 3 5 0 が実装されている。また、本体基板 3 0 1 は、プリンター 3 0 0 の本体に設けられたロール紙印刷部 3 3 0、切換スイッチ 3 8 0、及び操作パネル 3 7 0 の各部に接続されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

また、データ解析部 3 5 5 は、第 1 インターフェイス 3 1 0 が受信した印刷データ中にテキストコマンドを検出した場合、テキストコマンドを削除して、新たに印刷データを生成する。これにより、レシートに意味の無い文字列が印刷されないようにすることができる。データ解析部 3 5 5 は、第 1 及び第 2 モードのいずれにおいても、印刷データからテキストコマンドを除去する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

また、プリンター 300 は、第 1 インターフェイス 310 で受信されたコマンドを、ロール紙印刷部 330 で実行される第 1 実行コマンドまたはプリンター 200 で実行される第 2 実行コマンドに変換する変換部 357 を有するので、プリンター 200、300 が、異なるコマンドを使用する POS 端末 20 に接続された場合であっても、POS 端末 20 のコマンドを改変することなく、プリンター 200、300 を適切に動作させることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

また、プリンター 300 の制御部 350 が、第 2 モードに切り換えたとき、変換部 357 が、第 1 インターフェイス 310 で受信されたコマンドを第 2 実行コマンドに変換し、第 2 インターフェイス 315 は、決済情報及び第 2 実行コマンドをプリンター 200 に送信し、プリンター 200 は、受信部で決済情報及び第 2 実行コマンドを受信し、ロール紙印刷部 220 で決済情報をレシートに印刷する。このため、プリンター 200 が、異なるコマンドを使用する POS 端末 20 に接続された場合であっても、POS 端末 20 のコマンドを改変することなく、プリンター 200 を適切に動作させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

また、上記実施形態では、媒体を処理する媒体処理装置、及び、外部の処理装置の例として、ロール紙に印刷を行うプリンター 200、300 を備えた構成を例に挙げて説明したが、本発明はこれに限定されない。例えば、媒体は紙に限定されず合成樹脂製のシートを用いることも可能であり、媒体の表面に加工が施されていてもよい。媒体は所定サイズにカットされたカットシートであってもよいし、スプロケット紙などの連続シートであってもよい。また、例えば、媒体として複写紙を用いる構成としてもよい。さらに、ロール紙印刷部 330、220 は、感熱紙に熱を与えて印刷を行うサーマルプリンターに限定されず、インクジェット式、ドットインパクト式等の各種の記録方式を採用できる。また、上述した実施形態では、2 台のプリンター 200、300 を備えた POS システム 2 について説明したが、いずれか一方または両方の装置を、磁気読取機能、帳票印刷機能、小切手等の媒体を光学的に読み取るスキャナー機能、或いは IC カード等により認証を行う機能を備えた複合機として構成してもよい。

また、上記実施形態においては、ホストコンピューターの一例として POS 端末 20 を挙げて説明したが、本発明はこれに限定されない。ホストコンピューターとしては、プリンター 300 等の媒体処理装置に対してコマンドとテキストデータとを送信する機能を備えたものであればよく、一般的なパーソナルコンピューターや、メインフレームコンピューター、サーバー等のコンピューター機器、或いは、携帯型デバイスを用いることができる。さらに、ホストコンピューターの用途は POS としての会計処理に限定されず、文書作成処理、画像編集処理等の一般的な用途、或いは、特定の用途に用いられるコンピューターを含むシステムにも本発明を適用できる。

図 1 及び図 2 に示す各機能ブロックは、ハードウェアとソフトウェアの協働により任意に実現可能であり、特定のハードウェア構成を示唆するものではない。

また、例えば、プリンター 300 の制御部 350 が、外部接続される記憶媒体に記憶させたプログラムを実行することにより、制御部 350 の各種機能を実現する構成とすることも可能である。その他の細部構成についても、任意に変更可能であることは勿論である。

o